

神戸市看護大学 COC 実績報告冊子
第 4 号

2017 年 3 月

神戸市看護大学地域連携教育・研究センター

緒言

今年度は神戸を舞台にした連続ドラマが放映され、神戸の“べっぴん”なモノづくりが全国に発信される年となった。保健医療の分野においても、神戸は震災などの経験から得た教訓を独自の地域・在宅ケアシステムに取り入れ、その取り組みの一部は神戸方式として全国に波及されている。本年度、COC シンポジウムと市民公開講座においても「神戸からの発信」と題し、「在宅ケアにおける多職種連携」「人と地域のつながり」についてディスカッションする機会となった。

さて COC 事業の中心的取り組みである「地域連携教育（コラボ教育）」は、一般住民の方がボランティアとして参加する“教育ボランティア導入授業”として、本学独自の教育プログラムをもとにした取り組みである。この授業をより住民の暮らしに近い場所で行なうことを目的とし、平成 26 年度から須磨ニュータウン地区で開講している。学生を送り出す教員も、そして学生を受け入れる地域の方も不安を抱える中でのスタートであったが、3 年目を迎え、学生の教育に携わることに「やりがい」を感じてくださる住民も増えてきた。この 2 月には須磨区で教育ボランティア交流会を開催し、コラボ教育を支えてくださっている住民の方からよりよい教育内容にするための意見をたくさんいただいた。

次年度は 5 カ年計画としてスタートした COC 事業の最終年度となる。教育ボランティア導入から 10 年、コラボ教育から 3 年経過し、地域住民と共に地域の課題に応えられる、そんな“べっぴん”な看護人材を輩出していきたい。そして将来この教育プログラムが、神戸から発信されることを期待している。

地域連携教育・研究センター 准教授
相原洋子

文部科学省

地（知）の拠点事業

2016(H28)年度補助金交付概要

総額	24,871,000 円
内訳	
物品費	0 円
人件費・謝金	20,791,000 円
旅費	196,000 円
その他	3,884,000 円

<参考>	2013(H25)～2017(H29)年度補助金交付(予定)額
	2013(H25)年度 18,062,000 円
	2014(H26)年度 30,836,000 円
	2015(H27)年度 29,257,000 円
	2016(H28)年度 29,180,000 円
	2017(H29)年度 29,841,000 円

目次

緒言	・・・ iii
2016年度補助金交付概要	・・・ iv
1章 2016年度活動概要	
(1)2016年度 COC 事業関連会議一覧	・・・ 3
(2)2016年度 COC 事業の主な活動(進行図)	・・・ 4
2章 2016年度 COC 事業による「教育」	
(1)2016年度教育実績：コラボ教育	・・・ 7
(2)2016年度教育実績：継続看護・訪問看護教育	・・・ 15
(3)2016年度教育実績：大学院教育	・・・ 19
3章 2016年度 COC 事業による「研究」：神戸市看護大学 COC 共同研究費研究報告	
(1)継続看護強化のための教育プログラム案の作成	
(代表者：石原逸子)	・・・ 23
(2)強い心理反応や精神症状を有する利用者や家族の対応に困難を感じる 訪問看護師への支援体制の検討	
(代表者：安藤幸子)	・・・ 24
(3)地域診断を反映させた地域活動実践システムの評価と精錬化	
(代表者：都筑千景)	・・・ 25
(4)地域認知症支援ボランティア育成にむけた介入研究	
(代表者：相原洋子)	・・・ 26
(5)もの忘れの気がかりがある人の表出されにくいニーズの把握と支援のあり方	
(代表者：清水昌美)	・・・ 27
(6)家族による終末期の看取り体験を語る会の設立と体験のデータベース化 ～終末期患者の家族・遺族支援プログラムの実施・評価～	
(代表者：井口悦子)	・・・ 28
4章 2015年度 COC 事業による「地域貢献」	
(1) 須磨区教育ボランティア交流会	・・・ 31
(2) 神戸市看護大学「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+） ～地域住民との交流を活かした看護人材の育成と地域包括ケアシステムへのアプローチ～	・・・ 33
(3) 2016年度市民公開講座 震災を乗り越えた神戸からの発信 ～「人・地域」のつながり～	

1) 第1部 報告・基調講演の概要	・・・35
2) 参加者アンケート結果報告	・・・45
(4) 2016年度 COC シンポジウム 在宅医療を進めるための多職種連携 ～「在宅ケアのつながる力を育む」	
1)基調講演・パネルディスカッションの概要	・・・47
2)参加者アンケート結果報告	・・・56
(5) 神戸市看護大学まちの保健室出前講座の実施	
1)もの忘れ看護相談	・・・58
2)健康支援	・・・58
3)こころと身体の看護相談	・・・59
4)その他の地域貢献活動	・・・60
5章 2016年度 COC 事業による活動の「評価」	
(1)評価部会による概要	・・・63
(2)学生による評価	・・・69
(3)教員による評価	・・・79
(4)外部評価委員による評価	・・・84
(5)地域住民による評価	・・・87
(6)文部科学省・日本学術振興会による評価	・・・90
6章 2015年度 COC 事業中間報告	
(1)3大学合同報告会「プラットフォーム」	・・・95
(1)COC+就職説明会	・・・98
7章 2016年度 COC 事業広報関連資料など	
(1) COC 事業ニュースレター2016年秋号	・・・101
(2) COC 事業ニュースレター2017年春号	・・・105
8章 2017年度 COC 事業計画	
(1)2017年度 COC 事業活動予定表	・・・111
(2)2017年度 COC 事業関連印刷物発行予定	・・・112

編集後記